

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
1997年10月5日



今月の予定

- 委員会 10月5日
- ロザリオの集い 10月13日
- 世界宣教の日 10月19日
- バザー 10月26日
- サロン 10月12日
- レジオ 10月10,17,24

委員会だより

<9月7日(日) 9名出席>

【1】財務報告：97年7,8月決算報告を了承。

【2】お知らせコーナー：

(1) 司教館、教区事務所建設準備委員会が7月6日藤沢教会にて開催され、清水委員長出席。7月13日9時ミサ後概要説明。第4~7地区より大和教会、逗子教会から代表選出。教区全体より選出の委員が会合を持ち、9月に改めて準備委員会を開き各教会に通知が来る。

(2) 夏期学校は中止。これに代わる花火大会等も中止。
(3) 8月31日第8回卓球大会が楽しく開催された。実行委員会、婦人会の活躍に感謝します。

(4) バザー委員会7月27日第3回、9月6日第4回が開催された。皆様の御協力有り難うございます。
・バザー券 発売日9/28
・食券 発売日10/5
・チラシ 配布10/12頃(近隣、友人等)
・模擬店開催届(保健所) 10/15~20頃
・次回バザー委員会 第5回 9/20AM10:00

【3】お話し合いコーナー：

(1) 9月14日敬老会の手順確認。ご影プリント(小野さん)、記念品、お茶菓子準備(石井、小山さん)、サロン形式(壮年会役員、婦人会役員)ご協力、司会井上さん、ご挨拶小野寺さん

(2) 教会前庭駐車について 手話グループと卓球愛好会に有効期限平成10年3月31日と議決。9月9日に神父様にご報告し、ご裁可を受けた。

(3) 冠婚葬祭について、婦人会位田さん、阿部(映)さん、壮年会小野寺さん、平瀬さん、委員会花坂さん、清水さんが委員に選出された。現在情報を集めており、バザー終了後小委員会を開催する。

壮年会だより

<9月21日(日) 13名出席>

1. 9月7日委員会報告

2. 卓球大会報告(宮崎さんより) :選手42名、応援含めて60名参加。若い人の参加が少ないのが残念とのこと。

3. バザーの件：バザー券9月28日販売開始。担当は壮年会。取りまとめを七浦さんをお願いした。食券は壮年会分も一緒に婦人会が販売する。

4. 小谷さんからの提案

①オルガンの位置と向きを他教会を参考に考えて欲しい。⇒検討する。

②夏場の冷房の効き過ぎで寒いことがあるので、温度計の位置を変えてお聖堂の中間へとの話があったが、花坂さんより時計型のものを考えて見てはとの話あり。⇒検討する。

③神父様の12月11日80才の誕生日と12月20日叙階40周年の記念品の贈呈について検討して欲しい。⇒清水委員長、10月5日委員会にて検討。

5. その他：バザー券は総額20万円。1冊1000円(1枚200円を5枚綴り)を200冊。

婦人会だより

<9月21日(日) 30名出席>

1. 委員会報告

2. お知らせ

- ・B地区の横塚さんがお帰りにになりました。連絡網は町田さんの次にご記入下さい。(Tel: 864-3691)
- ・C地区の田丸さんが7月末に退院されました。
- ・C地区の窪田さんとD地区の小森さんが転出されました。

3. お聖堂のお掃除について

行事の後、または何かの理由で日曜日のお掃除ができなかった場合は、次のお掃除当番の方は様子をみて行って下さい。

4. バザーについて

- ・食堂関係
カレー 300円 150食
おでん 300円 150食(8月月報での200円は誤り)
お汁粉 200円 150食
ケーキ・紅茶 150円 200個

・委託品：クッキー、ドロ様うどん、お茶・椎茸、赤飯、山菜おこわ、ソックス、中国アクセサリー

・これからの予定

- 9月28日(日) バザー券発売
- 10月5日(日) 食券発売
- 10月7日(火) 販売品値段付け
- 10月23日(木) ケーキ作り午後1時(立場地区センター)
- 10月25日(土) バザー前日お手伝い午後1時(ミサ午後4時)

・紅茶、ティーバック、砂糖、紙袋のご寄付をお願い致します。

・ドロ様うどん、お茶・椎茸の注文をバザー前に受けますので、いつも通り10月19日(日)迄にご記入下さい。

5. 同志会からのお知らせ：10月17日(金)ふれあいを通して古川勉師と共に施設訪問

次回例会は10月19日(日)、次回当番はC地区です。



吉田一郎さんの 昭和六十年二月二十四日
信徒集会棟の祝別式同伴記

山崎 正俊



人と人との出会いは、何かのきっかけに依っているもの。中和田教会の増築された集会棟の完工祝別式がおこなわれる日に、委員さんの代行として出席するように、電話で依頼されたからです。戸塚教会が、二つの小教区に分かれて、いつしか十年をこえるほどにもなるのに、旧友たちと会うことは殆どないままで、日は過ぎ去っていた。親しく語り合えるには、またとないチャンスです。気は引けても、特別の用事もないのに、このようなことは、私のような者にとっては、とてものこと、出来る話ではありません。

天気は快晴。凍てつくような清々しい朝。この頃は一段と調った大山道(オオヤマミチ)を登って、バスは軽快に走る。前方に見える山並みは、何とないがけななやぎを連ねた商店街の屋根のかなたに、スマレ色をしてくっきりと、道のさきを圧えて立っている。近く此のあたりの中心にもなりそうな、立場(タテバ)のバス停に降りる。記憶をたよりに後もどりして、ガソリンスタンド、そして小住宅地を右折左折して進むうちに、早咲きのチンチョウゲの香りが風に乗って来る。

敷地の入口を示す二本の石造りの門柱のすぐ左側に、薄黄色の壁で囲った建物が目に付く。大きな銀色に浮きたつ十字架が壁に貼りついている。教会を示す表示板は、視界に入らない。駐車場を兼ねた広い中庭。少し傾斜をつけた上り坂で、本館。玄関口の右に濃緑の木を背にした、聖マリア像。そして中空高く、なつかしの大十字架。小さいながら、色とりどりの花々に囲まれてたたずむ「マリアさま」に、思わず手を合わせて、そして、しばしの語り。静かな微笑みをうかべたような聖母の白い御姿。無原罪

の聖母。
久しぶりに出会う旧友の顔、顔、顔がつづく。「ヤァー、お元気」「ヤァー、ヤァー、お元気で何より」「いま、何をやっているのですか」「ヤァー、どうも、どうも」などと頭を掻きながらの、言葉になるような、ならぬような会話の連発ばかり……。

明るい笑顔が、陽の光を受けて、しあわせ一杯の姿が、いま、目の前にある。そして、なごやかな生活の流れが、あふれている。

聖堂内のザワメキも、一瞬、水を打ったように静まる。やがて白昼にもかかわらず、夢の世界にでもひきこまれるような清らかな聖歌の調べに、耳を奪われる。(日頃の朝の練習の総仕上げか)——日曜日の感謝のミサは定刻・九時にはじめられた。説教は、ノエの箱舟と、その一族。主が荒野で出会われた悪魔との会話。神父様の祝福を受けて、ミサは終了。続いて、全員は戶外へ。

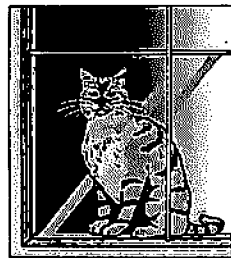
本日のハイライト、集会堂の祝別に移る。静寂のなかにも、司祭のお祈りの声だけが、ひときわ低く、流れる水の如く、尾をひいて響き渡ってゆく。二階建ての集会棟の竣工を祝う紅白のテープが切られる。しばらくのお祈りが続く。そして、聖マリア像の祝別に移る。日曜日の御ミサに集まった人々を、時間を考えず待っておられるマリア様。感激に気を取られていると、肩をゆすられ、「フウッ」と我に返る。——完成された新集会室の公開がはじまる。戸塚教会からの人たち(青山さん、米田さん、鶴岡奥さん)に励まされて私も、一緒に、歩をすすめる……。

(未完)

ミサ当番表 (97年10、11月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
10/5	年間第二十七主日	清水	石川	11/2	年間第二十七主日	七浦	美底
10/12	年間第二十八主日	青年会	森田	11/9	年間第二十八主日	青年会	石川
10/19	年間第二十九主日	婦人会C地区	大宮	11/16	年間第二十九主日	婦人会D地区	森田
10/26	年間第三十主日	小谷	岩淵	11/23	年間第三十主日	富田(壮)	大宮
				11/30	年間第三十主日	婦人会D地区	岩淵

※当番の方は10分前には集合して下さい。
※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原: Tel. 802-6258)



いつか私も

青柳 恵代

毎日平凡で穏やかに過ごしているつもりでも突然思いがけない事が起こります。それは人の優しさに触れたときに感じる幸せだったり、時には生活を変えてしまう程深い悲しみであったりします。私が母の様子がおかしいと感じたのは平成4年の秋でした。母が私に掛けてくれる電話の内容が何時も同じ事ばかり言うようになり、また昔の話をする事が多くなってきました。そんな母の変化に気が付きながら、当時はあまり深刻に考えていませんでした。でもそのころから母のボケが始まっていたようです。翌年の2月我が家に遊びに来ていた母が実家に帰る日、藤沢でお手洗いにいったまま母が迷子になってしまいました。必死で捜しまわり、30分程して藤沢駅前の広場で心細げに立っている母の姿を見つけました。「何処にいたの、捜したのよ、見つかって良かった。」という母の言葉がショックでしたが「ごめんね。」と謝りながら、思いがけない母の言葉に悲しくて悲しくて涙が出てきてしまいました。どうしてこの母がと神様に問い掛けずにはいられませんでした。

それから4年半が過ぎました。回復は望めないまでも、症状が進行しないように心がけて生活させていますが、徐々に幼児化してゆくようです。子供が母親に追い追われるように今は私が母に追いついていきます。また、昔は母が私に教えてくれた生活の知恵や躰を、今私が母に同じ事を注意しながら家事を手伝ってもらっています。今はまだまともな部分とおかしな部分が混在して行ったり来たりしているようです。母のおかしな言動に注意をすると激しく反論したり人並みに色々と言いつつも、また自分に都合の悪い事はすぐに忘れてしまうようで、そういう意味では、まだしたたかに自分を守るすべは残っているようです。そんな母の姿を見ていますと「いつか私も…」と不安になりますが、先の事は神様におまかせして、母も私も穏やかで優しい一日一日を過ごしていけますようにと願う毎日です。

「レジオ・マリエ」です よろしく!

中島 喜美子

「初金曜日」を除く毎週金曜日の午前10時から集会をしているのが、私達「レジオ・マリエ」です。メンバーは現在11名。

レジオ・マリエは、カトリック教会の承認を受けた信徒使徒職グループの一つです。

その起こりは、1921年9月7日、聖母マリア誕生の祝日の前夜、15人の若い婦人たちがアイルランドのダブリン市の最も古い地区の中心にある「ミラ・ハウス」に集まり、無原罪のマリア様の御像を囲んで、ひざまづき、祈ったことから始まりました。

聖霊の導きと神のみ言葉によって、愛と優しさに満ちた奉仕を、マリア様に倣い、マリア様と一致して行なおうとしていたこのグループを、後にフランク・ダフという人が「レジオ・マリエ」(マリアの団体)と名付けました。

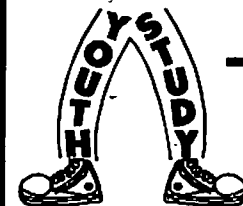
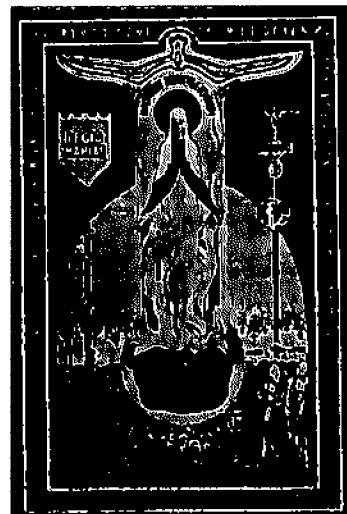
日本には、1948年5月、長崎の高島教会にバーン神父によって初めてもたらされました。1996年現在、165支部、約1,400人の活動会員と約4,300人の賛助会員がいます。中和田教会のレジオ・マリエは湘南地区本部に属し、月一回当番教会を会場に、報告と話し合いの集会が行われます。

私たちは、毎週の集会での神父様のお話や、会員同士の心を開いた分かち合いを通して、時には楽しく、時には真剣に、日常生活の中でのマリア様に倣った生き方を学び合っています。

山崎神父様が常におっしゃる「祈りによって心をととのえ……」を大切にしながら、マリア様と共に主の道を歩んでいけたらと思っています。

みなさまの訪問、入会を歓迎致します。共に祈りませんか。

集会は初金以外の金曜日の午前10時～11時30分です。



青少年コーナー



社研ゼミ 「若ものと教会」に参加して

岩崎 好愛

この夏カトリック社会問題研究所(社研)が主催するセミナーに参加してきました。(8/22~24、四ツ谷の雙葉学園にて)

今年のテーマは「若ものと教会」。仕事とも多少関係がありますし、わが家にも若ものというには少しひねてはいますが、まだ20代に連なっている名ばかりの信者の息子もいますし、また、社会的にも今「若もの」が話題になることが多い……といったところで興味と関心があったので、暑さに躊躇もありましたが参加してみました。

全国各地から100名ほどの参加者がありましたが、本当に期待はづれで残念だったのは、一番声を聴きたかった若もの姿が皆無と聞いていくらい目につかなかったこと。これではおとなの一方的な視点でしか見れませんよね! わずかに若もの側からの発言と言え、選ばれた三人の方が「若もの話」と題して壇上で話されたことだけ。彼らは、いうなれば教会の優等生的若もの。私が聴きたかったのは、いま教会からだんだん離れていってしまっている若ものたちの本音と言いつ、そして彼らの周囲にいる多くの若ものたちのこと。いったいどこに行けばみんなの声が聞けるのかしら? と思ってしまいました。

ともかくおとなたちの一方的な視点であろうとも、後に続く人たちへ思いを馳せながら、いろいろな立場の方たちの話を聴き、分科会で話し合いが行われました。そんな中から出てきた反省は、おとなはどうでもよい事に目くじらをたてて、若ものを分かつとすること(聴くこと)、若ものと共にあろうとすることに努力を払っていないのではないか、ということ。「教会はもっと分かりやすい言葉で、若もの心にひびく事柄を伝えていく必要があるのではないですか。現在それをやっていないのは、おとなが若ものと共にあることを望んでいないからではないですか?」とSr.景山あき子は我々に問いかけていました。

会場に若ものたちが来ていなかったということも、こういう催しがあるということが伝わっていなかったのだとすれば、それは大人の側の配慮不足かもしれません。しかし、願わくは若ものみなさんの方からも、もっと積極的に目を教会の方に向けてほしい……。「待つ」だけでなく……。

昨年青少年のみなさんを対象にアンケートを行った際、「教会に行くだけが信仰ではないと思う。私は社会や学校でキリスト者として……」と書いて下さった方がありました。たしかにその通りだと思います。しかしそこでもう一歩進めて、是非とも教会に来て、それを教会の仲間と分かち合ってみてほしいと思うのです。

そうすることで、喜びはさらに大きなものとなり、痛み、悩み、苦しみは癒されることになるでしょう。そして、そこにイエス・キリストのメッセージをきくと聞くことが出来る筈です。

「あの方が道々私に話しかけた時、私の心は内で燃えていたではないか」 -ルカ24章32-

サロンから お礼

皆様のおかげでサロンの日は盛況で、担当者一同、うれしく思っております。

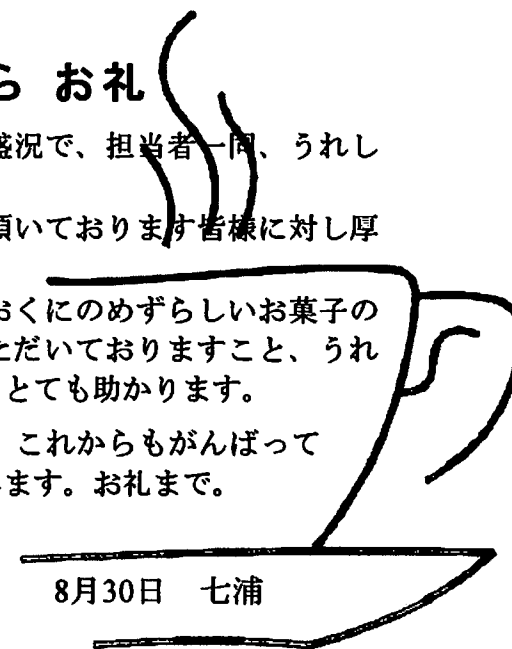
又お菓子の差し入れにご協力頂いております皆様に対し厚くお礼申し上げます。

北のお土産、南のお菓子と、おくにのめずらしいお菓子の数々、テーブルの上を潤していただいておりますこと、うれしく思い、感謝致しております。とても助かります。

皆様の温かいご協力と一緒に、これからもがんばって参りますのでよろしくお願い致します。お礼まで。

サロン担当者より。

8月30日 七浦



お知らせ

初聖体

➤ ユスト 武石 勝未
8月10日

新住所

➤ ヨゼフ 松下 俊二
峰子
瀬谷区下瀬谷3-17-2
SKビル301
(045)301-8529